

令和7年度 第1回桜川市図書館協議会 議事録

【開催日時】

令和7年7月16日（水）午後2時～午後3時10分

【開催場所】

桜川市生涯学習センター「さくらす」1階会議室

【出席者】

○委員

市村幸子、中村直子、菊池克明、濱野和博、石塚勝、高松延夫、猪瀬幸己、飯島節子

○事務局

稲川教育長、佐谷教育部長、生涯学習課：上野課長、栗山課長補佐、齋藤、飯山、仁平、太田

○指定管理者

小澤センター長兼図書館長

【次第】

- 1 開会
- 2 委嘱書交付
- 3 教育長あいさつ
- 4 自己紹介
- 5 委員長並びに副委員長の選出について
- 6 議事
 - (1) 施設の概要、運営方針及び令和6年度事業実績について
 - (2) 令和7年度事業計画について
- 7 その他
- 8 閉会

【会議資料】

次第

令和7年度 桜川市図書館協議会委員名簿

資料1：委員長並びに副委員長の選出について

資料2：施設の概要、運営方針及び令和6年度事業実績について

資料3：令和7年度事業計画について

令和7年度 桜川市生涯学習センター さくらす 利用者アンケート

参考資料1：桜川市立図書館条例

参考資料2：桜川市立図書館条例施行規則

本日の会議は、委員の過半数が出席であるため、桜川市立図書館条例施行規則第29条第2項の規定により成立となる。また、議事録を作成するため録音すること、その議事録を公表することについて、予め了承を得た。

議事に先立ち、図書館協議会委員の委嘱書交付、自己紹介、委員長並びに副委員長の選出が行われた。委員長並びに副委員長の選出については、委員の互選により、委員長に猪瀬幸己氏、副委員長に濱野和博氏が選出された。

よって、桜川市立図書館条例施行規則第28条第3項の規定により、猪瀬委員長が議長となる。

議 事

(1) 施設の概要、運営方針及び令和6年度事業実績について

【議長】

(1) 施設の概要、運営方針及び令和6年度事業実績について、事務局より説明願います。

【事務局】

まず、本日が初めての協議会となるため、図書館協議会について説明。図書館協議会は「図書館法」の規定に基づき設置されるものであり、図書館に対する市民の意見や要望を、図書館運営に反映させる役割を担っている旨を説明した。

(1) 施設の概要、運営方針及び令和6年度事業実績について、資料2に基づき説明した。

【議長】

ありがとうございました。運営に携わっている館長より補足等ございましたらお願いします。

【館長】

概ね、ただ今の説明のとおりですが、桜川市立図書館については、報告の期間が2か月でまだまだ実績が測れる時期ではないのですが、現状では5か月目となっております、だいぶ利用者数等伸びてきている状況であります。補足としては以上です。

【議長】

ありがとうございました。それでは各委員の皆様、ご質問等ございましたらお願いします。

【議場】

質問等なし

【議長】

いかがですか。では、ないようですので、私から館長にお伺いしたいのですが、差しさわりのない範囲でお答えいただければと思いますが、図書館流通センターとして全国的に展開をしている中で、この桜川市立図書館がオープンして今までの期間、進行具合と言いますか、プロの目から見たらどのような感覚なのでしょう、直感で良いのですが。

【館長】

ご存じのとおり、図書館法の「図書館」というものが桜川市で初めてできたということで、真壁地区にはもちろん真壁図書館があったんですけど、大和地区と岩瀬地区には図書館がなかった。それで、いろいろ利用者の方にヒアリングすると、これまでは笠間市や筑西市の図書館に行っていたが、ようやく桜川市に図書館が出来て良かったと言ったありがたい声をいただいています。指定

管理者といたしますと、実際自治体に初めて図書館ができたというケースがあまりありません。

例えば、千葉県富津市も2年ほど前に、初めて市立図書館が出来たのですが、そこは、イオンモールという商業施設の中に入っており、図書館を目的としない人もたくさん来るため、比較対象や参考にはならないと思うのですが、そういったところは自然とたくさん人が来ます。桜川市立図書館は、複合施設とはいえ、単体の施設であり、そういったところに人が来てくれるか最初は不安でしたが、実際開館してみると、非常に多くの皆さんにご来館いただき、中でも予想以上だったのは、中高生の利用がとても多いことです。近くに中学校や高校がありますので「来てくれると良いな」と期待はしていましたが、期待以上に利用してくれています。「中高生の利用」というのは図書館の命題であります。どこの図書館も中高生の利用が少なく、そのような中で「さくらす」には中高生が来てくれている。私どもの関係者に話をしても、すごく羨ましがられます。学校が終わる時間になると多くの中高生が来てくれているので、若い人たちの居場所になりつつあるのかな、と感じています。

【議長】

そうですね。ありがとうございます。大変嬉しく感じております。では、順調に推移しているという理解でよろしいでしょうか。それでは、そういった話が出ましたので、学校の先生方にもおいでいただいているので、せっかくなので、この場でお話していただきたいのですが、C委員、岩瀬小学校の児童の反応などはいかがですか。

【C委員】

はい、子どもたちは、学習・宿題などにこちらの施設を利用しているようです。また、帰りの会などの会話を聞いていますと「今日、さくらすに行ける？」などと話しており、ここを待ち合わせの場所として、本を読んだり、友達と交流することを楽しみにしている様子が伺えます。長期の休みなどに巡視に来るのですが、子どもたちが利用している姿が見られます。

【議長】

ありがとうございます。K委員、中学生などはいかがですか。

【K委員】

はい、中学校では毎日日記を書くことになっていますが、その内容を見ますと、土日に「さくらす」の利用が多いようです。「さくらすで勉強した」「友達と教え合って楽しかった」などと書いてあることが多々見受けられ、「あっ、利用しているんだな」ということが伺えます。お話しをしながら友達とこちらで勉強したり、ちょっと疲れると本を読んだりしているようです。

【議長】

そうですね。それがどんどん増えてくると良いですね。家にも中学生がいるのですが、先日「図書館に行く」という言葉を初めて聞き、「これはしめた」と思いました。T委員、真壁高校は「さくらす」とは少し離れていますが、何か生徒さんの反応などございましたらお願いします。

【T委員】

高校生で、就職を希望している生徒は、ここから本格的に始動をしていきます。履歴書であったり、企業に出すレポートであったり、そういった書類が必要になりますので、その作成のために図書館を利用しているという話は聞いております。また、大学・専門学校進学の子は、この秋口からスタートになりますので、受験勉強などで図書館を利用する機会はますます増えるのではないかと

と思っております。出来れば図書館を受験勉強の場所として活用するだけではなく、受験勉強を機会として、本に触れるひとつのきっかけとなればいいな、と思います。そうなれば「さくらす」も盛り上がって行くのではないかと。我々教員としてもホームルームなどで、図書館の利用のアナウンスをしているところです。

【議長】

そうですか。どんどん利用していただきたいですね。館長、ここには個室もありましたよね。受験勉強ができるような。

【館長】

個室もありますし、サイレントルームという学習スペースもあります。

【議長】

バスを待つ時間だけでも、やっていただくと良いですね。学校からの観点で伺いましたが、J委員、読み聞かせの方からはどうでしょうか。定期的に活動していただいています、以前との違いとか、図書館ができたことで良くなった、改善した点とかありますでしょうか。もちろん不味いことでも結構です。

【J委員】

以前は「農村環境改善センター」で読み聞かせを行っておりましたが、参加者が0人ということが何度もありました。こちらの図書館になってから、最初の頃は、時間の周知がうまくいっていませんでしたので、10時過ぎてから人がぼちぼちと入って来るという状況でしたが、だいぶ浸透してきたようで、10時前後には人が集まるようになり、親子でおはなし会に参加していただけるようになりました。家族での参加もあり、狭い場所ですが10組くらいの参加をいただいています。

もう一つよろしいでしょうか。私はここで「なでしこ食堂」をさせていただいておりますが、最初の頃は食事が余りそうだ、となった時、スタッフが図書館に行きましたら、ちょうど高校生がお昼前でお腹を空かしながら勉強していたので、食事を摂ってもらったということがありました。

【議長】

ありがとうございます。委員の皆様全員からお話を伺いたいと思っていますので、続きまして、U委員、家庭教育の方面などから何かありましたらお願いします。

【U委員】

今、学校の先生方から利用している児童生徒が多いということを知りまして、非常に良いことだと思います。私が高校生の頃には、図書館を利用すると言ったら、下館図書館を利用したりしていました。以前はこの場所に、図書館というか図書室があったのですが、古くてぎざぎざしていたというイメージしか残っていません。子どもに勉強を教えたこともあったのですが、その頃も、下館図書館の方に足が向いていました。桜川市に図書館が出来、利用者も増えているということで、今後どんどん利用者数が増えていくのではないかと思います。思いながら聞いておりました。

【議長】

ありがとうございます。S委員、保護者の立場と申しますかPTAの立場から、この図書館について何かご意見はありませんか。

【S委員】

桜川市に出来た初めての図書館ということで、私も、加入していた団体の関係から、小布施図書

館や武雄図書館のことなどを、たまたま聞かせていただく機会がありました。たまたま聞かせていただいた私の知識の中で考えても「良い施設が出来た」と思っています。

私の住まいは真壁学区にあり、中一と中三の子どもがおります。中一の子どもが真壁学区からここにバスで来ようとしたことがあって、バスで来ると8時20分くらいに到着します。平日はわからないのですが、休日はその時間しかありません。8時20分に着いてしまっても、ここは9時開館ですので「私、それまでの時間どこにいればいいの?」と言われ「待ってなさい」と答えました。その辺りのところ桜川市として利用者を拡充させるためにも、これは館の運営とは違ってしまいかもしれませんが、バスの時間なども視野に入れて計画していただければ有難いと思いました。

もう一つは個人的に、桜川市立図書館の目指すところ、目的などをお聞かせ願えればと思います。こういう風になっていきたいと、それを話す場なのかも知れませんが。

【議長】

わかりました。一点目のバスの時間については、準備がありませんので即答は難しいかと思いますが、館長、そういった意見がありましたので、検討できればお願いします。

【館長】

はい、働きかけはしたいと思います。

【議長】

この場の結論は難しいと思いますが。あと、8時20分に着いて9時まで何か出来ればと。

【館長】

声を掛けていただければ中で待っていただくとか、冬の寒い時、暑い夏の日など外で待つのは現実的ではないと思います。

【議長】

そうですね、天気の状態もありますしね。

【館長】

我々職員は8時30分に出勤しますので、バスの着く時間には誰かしら居ますので、こういう理由で早く着いてしまったと言ってもらえれば、中で待っていただくこともできるかと思います。

【議長】

今はお約束できる、というものではないので、検討するというところでよろしいでしょうか。

【S委員】

決してどうこうということではなくて、こういった事例がありました、という報告です。毎週毎週来ている訳でもないのです。

【議長】

では、方向性についてですが、生涯学習課長か館長お願いします。答えられる範囲で結構です。

【事務局】

桜川市初の指定管理ということで「図書館」「公民館」と令和10年1月に開庁を目指しております「岩瀬支所」がこの館に配置される予定です。まだスタートしたばかりですので、目指すべきところは、総合計画などございますが机上の空論となりかねないため、現在の状況を申し上げます。小澤館長には大変ご尽力をいただいております、まずは、市と指定管理者の協調を目指しております。職員は4月からの着任一年目の者が多いため、連絡・調整を取って進めているところでござい

ますので、どうぞ、温かい目で見てくださいと思います。今年度中にはもう一度この協議会を開催する予定でありますので、その時には新たな報告ができると思います。

【議長】

ありがとうございました。図書館協議会は、先ほどのS委員の話のように「こういう風にお願いしたい」とかそういったことを言える場になればと思います。それが実際に出来るかできないかは別にして、思っていることを発言出来る協議会にしていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

【議長】

では、M委員いかがでしょうか。

【M委員】

先ほど館長から、利用者数・入館者数が大変増えているということを伺いました。他の地域では、新しい建物は出来たけれど、なかなか利用頻度が低いという話を聞くことがありますので、これからも広く市民に利用・活用していただければと思います。

【議長】

ありがとうございました。何の前触れもなく、皆さんをご指名してしまい大変恐縮です。せっかくの機会ですので、思うことがあれば、発言できる協議会にしたいと思っておりますので、次の会議からは、必ず発言する機会があるということでお願いいたします。それでは（1）施設の概要、運営方針及び令和6年度事業実績についてはよろしいでしょうか。

それでは続きまして（2）令和7年度事業計画について、を事務局より説明願います。

【事務局】

（2）令和7年度事業計画について、資料3に基づき説明した。

【議長】

それでは、実績と同じように館長から補足説明等ありましたらお願いします。

【館長】

こちらの表にあります事業計画についてはそのとおりに実行していきますが、ここにはない想定していない事業についても随時開催していこうと考えています。令和7年度の事業報告の際には、ここに書いてある以上のものをご報告できるものと考えております。

【議長】

ありがとうございました。それでは、7年度事業の計画等につきまして、何かご意見があればお願いします。是非こういうものを実施していただきたいとか、そういうものでも結構です。

【J委員】

事業ではないんですけれども、私たちは、高齢者から幼児までのボランティア活動で伺っております。大きな紙芝居や絵本もたくさん購入していただいておりますが、大型紙芝居は12画面が多いようで、小学生だったら16画面で10分間。「朝の読み聞かせ」に岩瀬小学校と南飯田小学校に伺ってますけれども、12画面だと5、6分なんです。だから、もうちょっと16画面の紙芝居が欲しいなと思っています。

【館長】

分かりました。参考にさせていただきます。

【J委員】

よろしくお願いいたします。

【議長】

ありがとうございます。その他いかがですか。先生方の方から何かございますか。よろしいですか。

【T委員】

それでは、事業計画につきましては、特段ご意見があるとかそういうことではありません。資料の1ページから総じて事業計画まで色々ご説明をいただいた中で、非常に感銘を受けているところがございます。実は、私は桜川市出身ではないものですから、この資料を見て、まず「ボランティアによる読み聞かせ」の数について非常に多くて素晴らしい取り組みではないかという気がしております。いくつかの市町村でも確かにやっているところを私も聞いてはいるのですが、ここまで開催回数や参加人数が多い、大人と子どもという表記になっているけれどもおそらく大人は保護者で子どもは幼児や小学生だと思うのですが、ここまで参加人数が多いということは中身の濃い読み聞かせが行われているのだらうと思います。ぜひ、今後ともこの活動を続けていただければ、非常に良い図書館運営の一助になると思います。併せまして、こういった素晴らしい取り組みの中に、高校生がボランティアとして入っていないということが今後の課題の一つだと思います。これは市がどうこうということではなく、我々学校教育の問題でありまして、今、ボランティア活動は高校生の社会参画を促す意味でも注目をされています。ですので、真壁高校としても今後生徒たちにボランティア活動に積極的に参加するよう、特に、地元でこういった読み聞かせのようなボランティアがあるということは非常によい機会なので、アナウンスをさせていただければと思っております。

【J委員】

高校生のボランティアにつきましては、岩瀬高校の看護科には、私たち朗読の会「虹」で毎年1回伺っております。それはなぜかといいますと、看護師になって小児科も担当するというので、もう十何年と伺っております。それで、十四～十五年前には、岩瀬高校の生徒も一緒に朗読の会「虹」で活動していた時期もありました。

【T委員】

真壁高校の近くには伝承館の中に図書館がございまして、徒歩で行くこともできますので、是非協力させていただければありがたいなと思っております。

【J委員】

「たんぼぼ」さんが担当しておりますので、よろしくお願いいたします。

【T委員】

二つ目ですけど、ブックスタートですか、こういった取り組みを私、初めて知りました。幼児教育の第一歩だと思います。素晴らしい取り組みだと思っております。

それで、三つ目で今年度計画の中に、今、震災の風化が叫ばれておりますけれども、震災関係の映画の上映等が入っております。これもまたなかなか素晴らしい計画ではないかと思っておりますので、ぜひ小学生から高校生までこういった上映に参加できて見ていただければ教育の一助になるのではないかとと思っております。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

【議長】

ありがとうございました。生徒さんたちがボランティアに参加をして、ということですよ。私が高校生の頃、50数年前になります。当時はJRCというものがあまして、ボランティアに行っていた仲間がいました。そういうことの足掛かりとして、図書館が利用出来たらとか、高校生の場みたいなものがあれば、ということなんだろうと思います。J委員など読み聞かせのご指導をいただきながら、高校生もそういう形で参加できれば、というお話だったと思います。

せっかくできた図書館で、私も心待ちにしていた図書館ですので、こちらが無い頃はどうしても笠間市に行って、本などをちょっと開いてそれが安らぎの時間でしたものですから。地元の人間としては待ちに待った図書館として、大切に育てていかなければならないと考えていますので、ぜひ皆様のご協力をいただきまして、提言等をしていければいいと思っております。

その他、ございますか。

【議場】

質問、意見等なし

【議長】

それでは、先ほど課長よりありましたように、今年度もう一度あるというようなお話ですので、その際にも皆様の忌憚のないご意見を伺いたいと思います。

本日の議事が全て終了したため、協議への協力を謝して、降壇する。